

手づくりの町を、町のつくり手とつくろう

集合住宅
だより

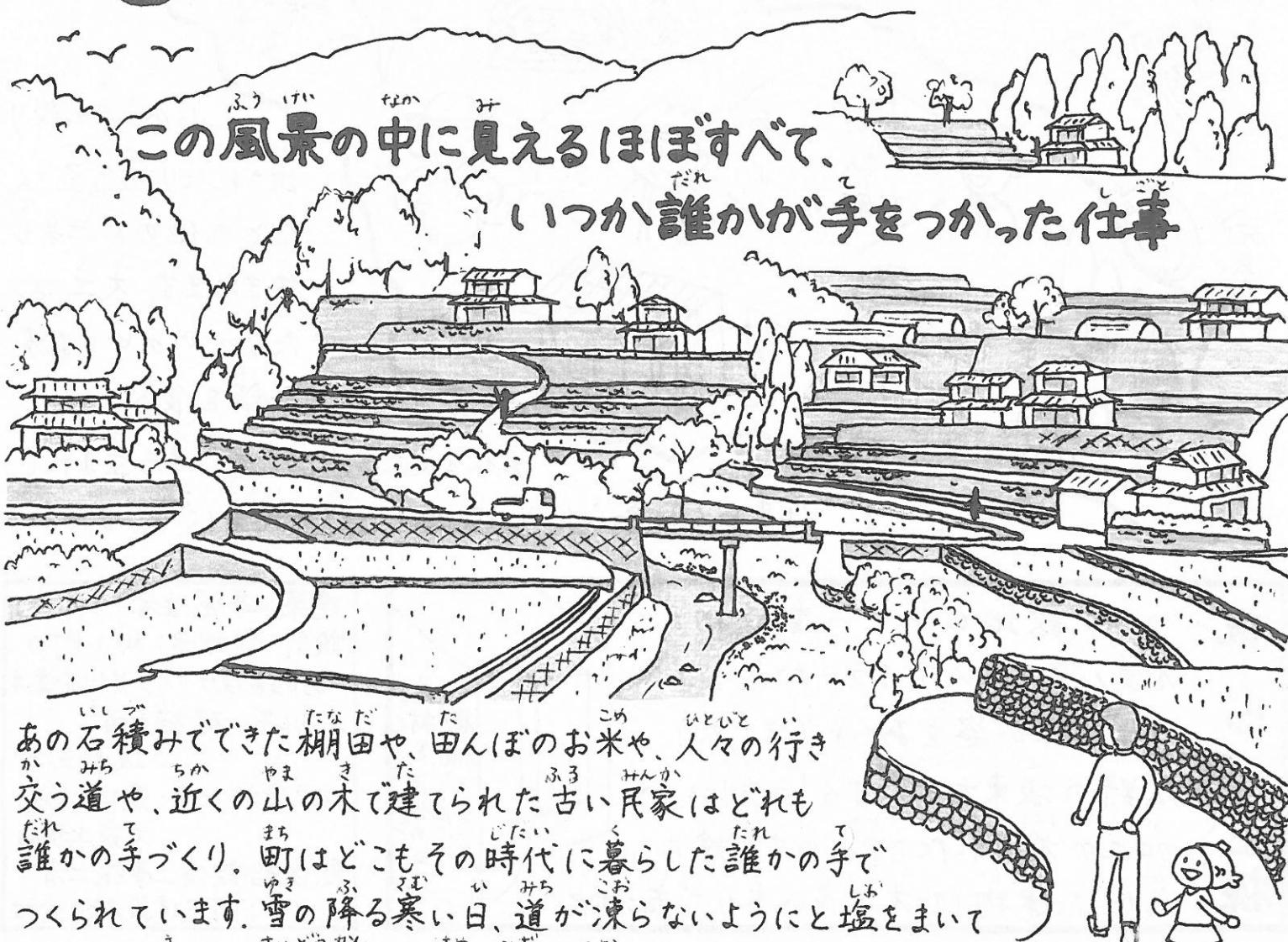
NO.7

2月号

神領大塹地の集合住宅は、町にあるもので「町のつくり手がつくっています。これまで大規模な建設工事は町の外の大きな会社に頼ることもタダく、町のつくり手たちが自分の町をつくる仕事に腕を奮いにくくい状況も。集合住宅づくりは、やり方を工夫して、数年間かけて数棟ずつ町のつくり手が」

この風景の中に見えるほぼすべて。

いつか誰かが手をついた仕事



あの石積みでできた棚田や、田んぼのお米や、人々の行き交う道や、近くの山の木で建てられた古い民家はどれも誰かの手づくり。町はどこもその時代に暮らした誰かの手でつくられています。雪の降る寒い日、道が凍らないようにと塩をまいているのも、裂けた水道管から早く水が使えるようにしてくれのも、誰かの手。私たちの毎日の暮らしも誰かの手と親切に支えられてこの先も続いていくのですね。

グッジョブ



げんきむげんたいまちなかしごと
元気無限大!! 町の中に仕事があったらどうなるだろ



祝！ついに上棟

うて“いっぽん” しょう“ぶ”
この腕一本で“勝負”！

建設に携わる人はみな格好良い。中でも木造建築に腕を奮う
町の大工さんたち。よい計画や設計があっても、彼らの腕なしに
建物は生まれません。あらゆる期待と
責任を引き受け、自分の腕一本で人生を
勝負する姿や気迫やプライドに尊敬と格好
良いを感じずにはいられません。イラストは阿川の大下大工と西岡大工



建築工事発注者：神山町
設計・監理者：神山町の
あす環境デザイン共同企業体
エネルギー棟施工者
：坂東住建
住戸棟施工者：荒井工務店
：大家工務店
熱供給設備工事施工者
：岡下建設株式会社

はつこう
発行 ねんがつ
かみやまちらくつ 2018年2月
神山町と神山つなぐ公社
まいにちさむ きば
毎日寒々厳しいですが
みなさま、お身体お大事に。

